

2026 年 9 月 24 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

積水化成品工業株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{おおさわ まさかず} 大澤 正和）は、積水化成品工業株式会社（代表取締役社長 ^{ふるばやし やすのぶ} 古林 育将）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション¹⁾等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケートローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、以下の KPI 及び SPT を定め、SPT 達成状況に応じて優遇金利が適用されます。
KPI：積水化成品工業グループ全体の GHG（CO2）排出量削減率（Scope1+2）（2018 年度比）
SPT：GHG（CO2）排出量（Scope1+2）を 2018 年度比で 2030 年度に 45%削減すること、
およびこの目標達成に向けて設定された 2026 年度-2029 年度のマイルストーン SPT
（2018 年度比）を達成すること

積水化成品工業株式会社は、「人と地球を大切に、新たな価値を創造するニューケミカル・ソリューション・カンパニー」というコーポレートビジョンのもと、「持続可能社会への貢献」と「持続的な企業価値向上」の両立を目指しています。その実現に向けて、独自の取り組みである「SKG-5R（Reduce、Reuse、Recycle、Replace、Re-create）」を推進し、環境貢献製品の創出と事業拡大、リサイクル・バイオマス原料使用比率の拡大、GHG（CO2）排出量の削減に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【本ローンの概要】

当初実行日	2025 年 9 月 30 日
本件にかかる変更契約締結日	2026 年 9 月 24 日
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行 株式会社みずほ銀行 農林中央金庫 株式会社りそな銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社南都銀行 株式会社滋賀銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社群馬銀行

当初組成金額	60 億円
現在残高	51 億円

また、本ローンでは、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上